

# TRANSFORM

高

2018. 4. 20  
第 84 号  
神港学園高等学校  
校訓  
進取・錬磨・礼節

## 留学生 空手道部



新たに3人の留学生がやってきました。

まず、ニュージールランドからの留学生、ラカイア・ホーン君です。バスケットボールと陸上競技の100m走と走り高跳びを得意とするそうです。来年の1月までの10ヶ月間、1年8組の特進コースで勉強します。

続いて中国からも高天語（ガオ・テンウ）君と李亜倫（リ・アローン）君を迎えました。二人ともにサッカーが得意で、15歳から中国代表でプレーをしています。

2年生のトップアスリートコースのクラスで、卒業までみんなと一緒に勉強し、サッカー部でプレーをします。

県民体育大会兼福井県体第1次予選が4月15日（日）、県立武道館で開催されました。

高校生男子個人形で近藤啓太（2年高砂市立荒井中）が見事優勝しました。

3位に東畑憲典（2年伊丹市立北中）が、ベスト8に河野秀人（3年加古川市立平岡中）が入賞しています。

高校生男子個人組手では、尾花和哉（3年神戸市立魚崎中）がベスト8に入賞しました。

## ファーストキャンプ

入学式の翌日、新入生は上級生との対面式と部活動紹介がありました。

その後、4月11日（水）13日（金）の2泊3日で、S Gファーストキャンプを加東市の嬉野台生涯教育センターで行いました。



少しでも早く神港学園の生徒にふさわしい考え方や立ち振る舞いを身につけることと、仲間作りを目的として行われました。

1日目は、「魅力的な目標を創ろう!」と題して、神戸セミナーの喜多校長より講義があり、続いて原副校長から授業の受け方、勉強の仕方についての講話がありました。

集団行動の練習を積みながら、ライフプランや夢についてのディスカッションも行われました。2日目は、仲間作りを目

的としたレクリエーションで大いに盛り上がり、昼食を挟んで、集団行動と校歌・応援歌の練習の後に、集団行動のコンテストが行われました。

最終日は、合唱の練習とコンクールが行われました。

## 女子バスケットボール

今年度より、女子バスケットボール部が創部されました。顧問に尼崎市立中央中学校より、松本康久先生をお迎えしました。

松本先生は、12度の全国大会出場の経験をもつておられ、近畿大会では3度優勝されています。

1年生ばかりのチームですが、神戸市民体育大会の初戦を114対46（東灘高）の大差で勝利しました。

**ちょっと一言** 「ピンからキリまで」という言葉を聞いたことがありますね。この言葉の起源は、室町時代までさかのぼります。点数を意味するポルトガル語の「pinta」という単語がピンの語源です。当時、ポルトガルから「天正カルタ（てんしょう）」と呼ばれるカード遊びが伝わりました。その遊びで1点をピンと呼び、最後の札をキリと呼んだことが由来とされています。例えば「きりがつく」のキリは区切りを表す言葉です。ピンは1点と最低の点数なので、「ピンからキリまで」は「最低から最高」という意味で使われていました。しかし、現在では逆の意味を表しています。江戸時代からピンは最初・最高、キリが最後・最低の意味で使われ始めました。昭和になると「ピンキリ」と略されるようになり、「様々」「いろいろ」といった意味でも使われるようになりました。